2026年10月30日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,140万kW
11時、101,400 MW（10エリア同時刻合計）

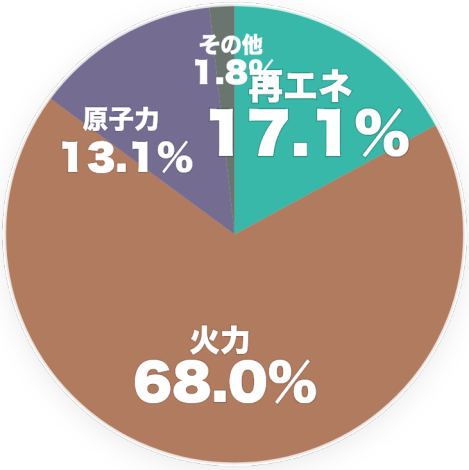
☀ 太陽光ピーク
1,474万kW
11時、14,739 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
160万kW
1時、1,603 MW

◇ 再エネ最大需要比
24.8%
11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
120 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
97.6 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 32.9%

27.4 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

9.1 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、10:30に3,225万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで32.9%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**17.1%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**363 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,124 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**24.8%**	11時
出力抑制量	**0.0 GWh**	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	**9.1 GWh**	発電構成比には含めない

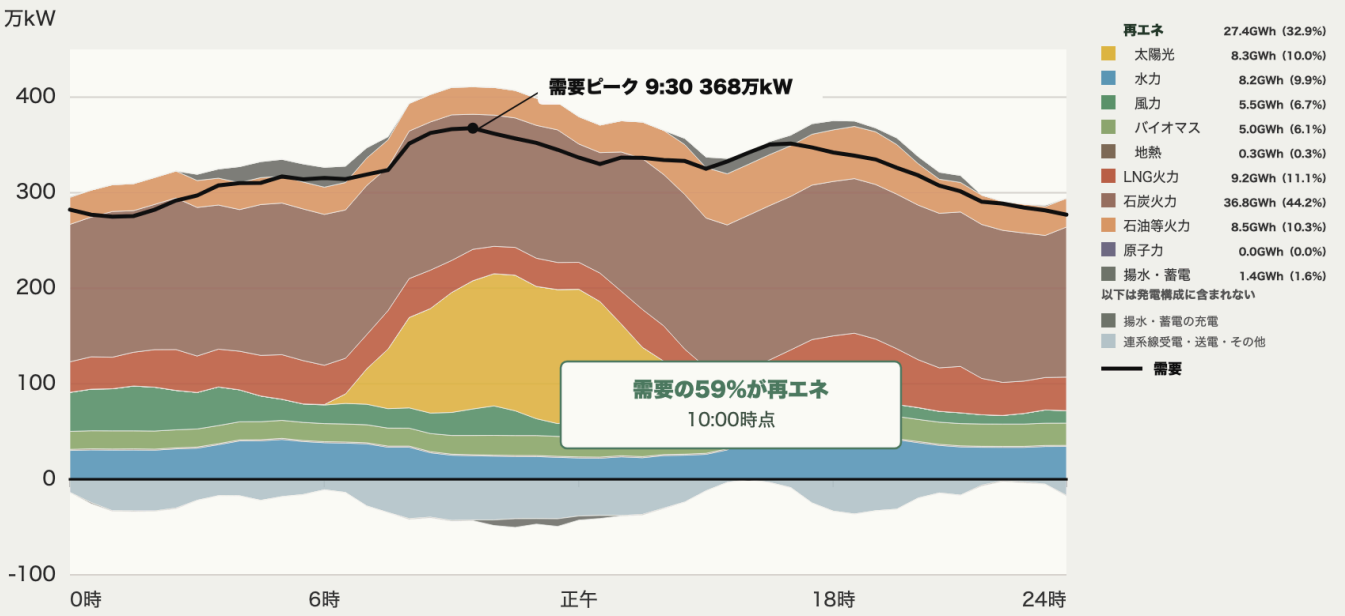
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**32.9%**	**27.4**	**0.0**	**送電 5.9**
東北	**20.3%**	**62.1**	**0.0**	**送電 97.6**
東京	**10.9%**	**59.9**	**0.0**	**受電 120**
中部	**21.1%**	**59.4**	**0.0**	**受電 47.4**
北陸	**29.8%**	**24.0**	**0.0**	**送電 10.7**
関西	**12.4%**	**38.5**	**0.0**	**受電 38.7**
中国	**13.5%**	**20.2**	**0.0**	**送電 1.8**
四国	**23.5%**	**22.5**	**0.0**	**送電 32.8**
九州	**19.0%**	**46.5**	**0.0**	**送電 34.8**
沖縄	**10.0%**	**2.4**	**0.0**	—

2026年10月30日の供給実績

北海道エリア

再エネ
27.4GWh
（発電電力量ベース32.9%）

北海道エリア 2026年10月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
83.2GWh

需要ピーク
9:30、368万kW

連系線・その他
5.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

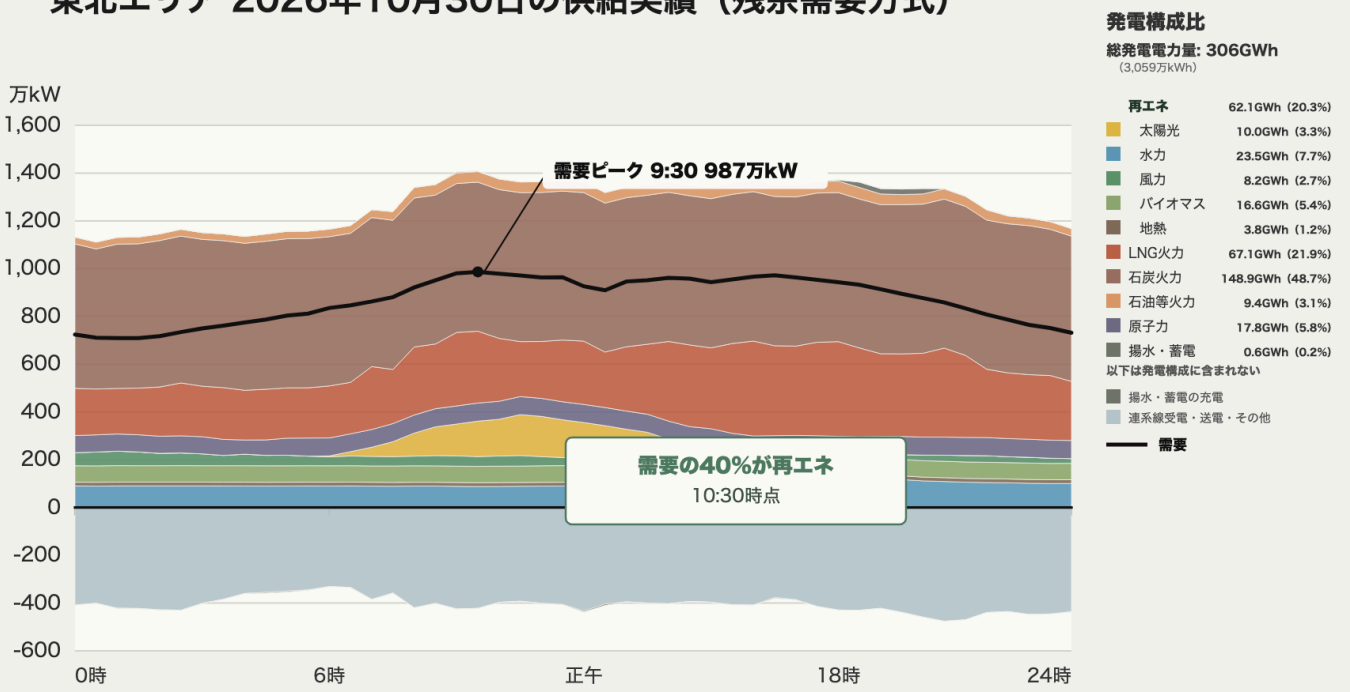
北海道は、太陽光ピーク142万kW、風力ピーク47万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.9%だった。

2026年10月30日の供給実績

東北エリア

再エネ
62.1GWh
（発電電力量ベース20.3%）

東北エリア 2026年10月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
305.9GWh

需要ピーク
9:30、987万kW

連系線・その他
97.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

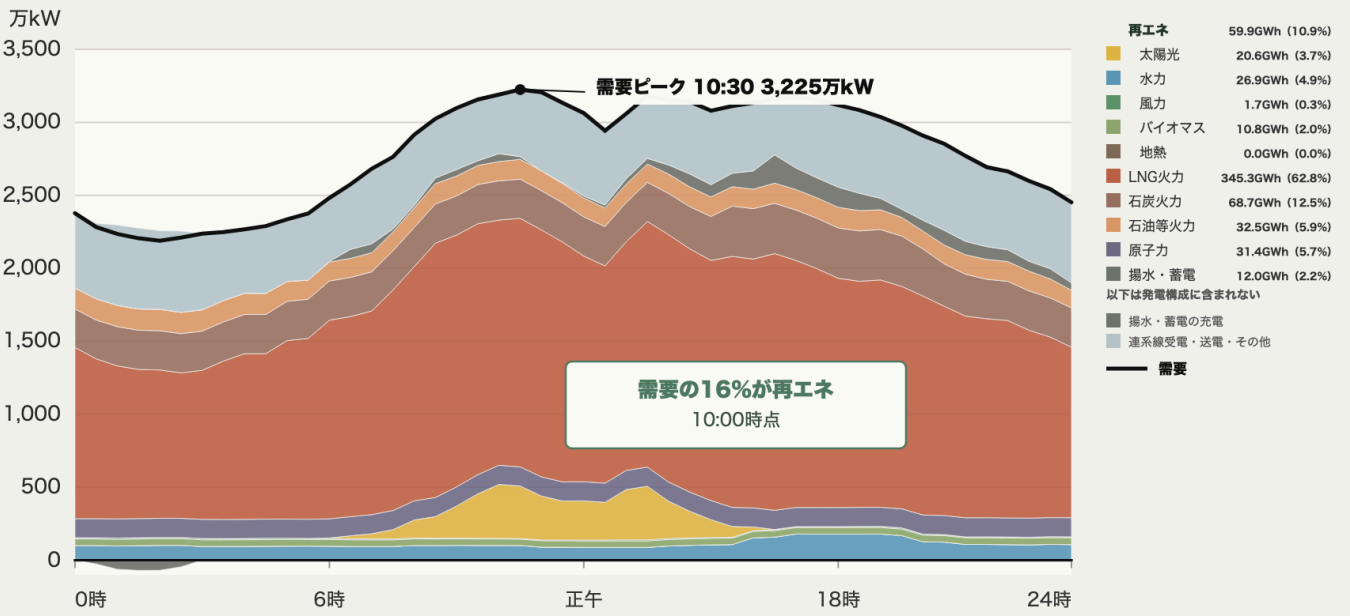
東北は、太陽光ピーク171万kW、風力ピーク61万kWで、時間別の再エネ最大需要比は40.0%だった。

2026年10月30日の供給実績

東京エリア

再エネ
59.9GWh
（発電電力量ベース10.9%）

東京エリア 2026年10月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
549.9GWh

需要ピーク
10:30、3,225万kW

連系線・その他
120.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電
1.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

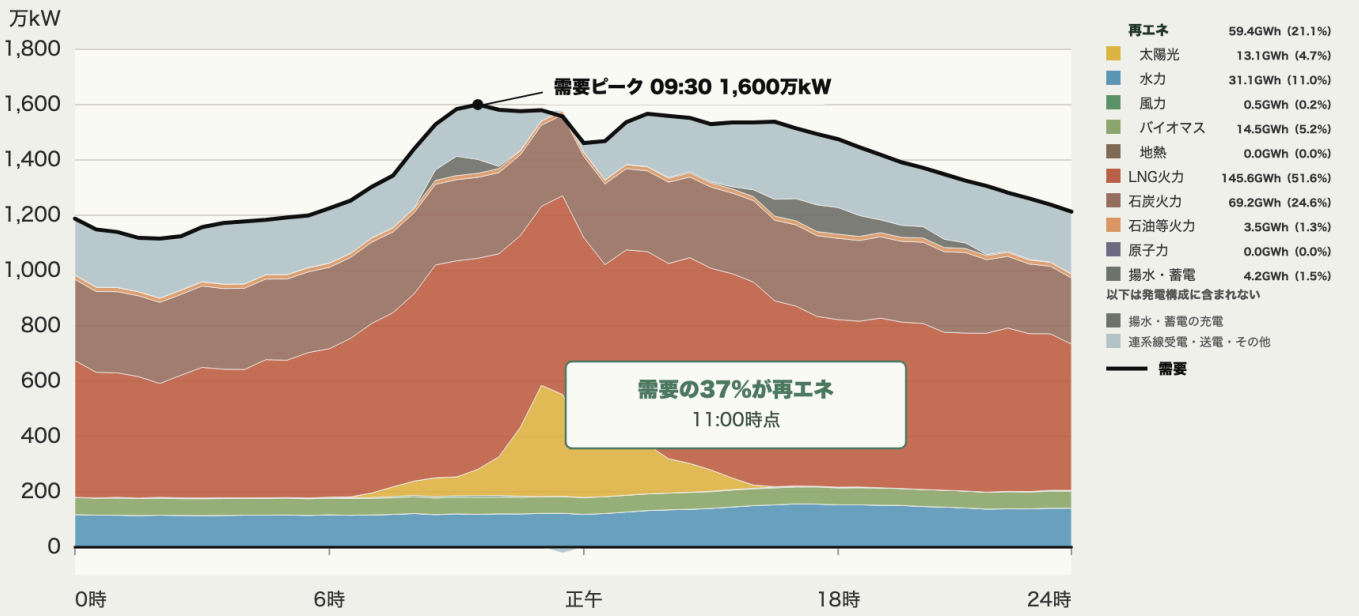
東京は、太陽光ピーク370万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は16.3%だった。

2026年10月30日の供給実績

中部エリア

再エネ
59.4GWh
（発電電力量ベース21.1%）

中部エリア 2026年10月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
281.9GWh

需要ピーク
09:30、1,600万kW

連系線・その他
47.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

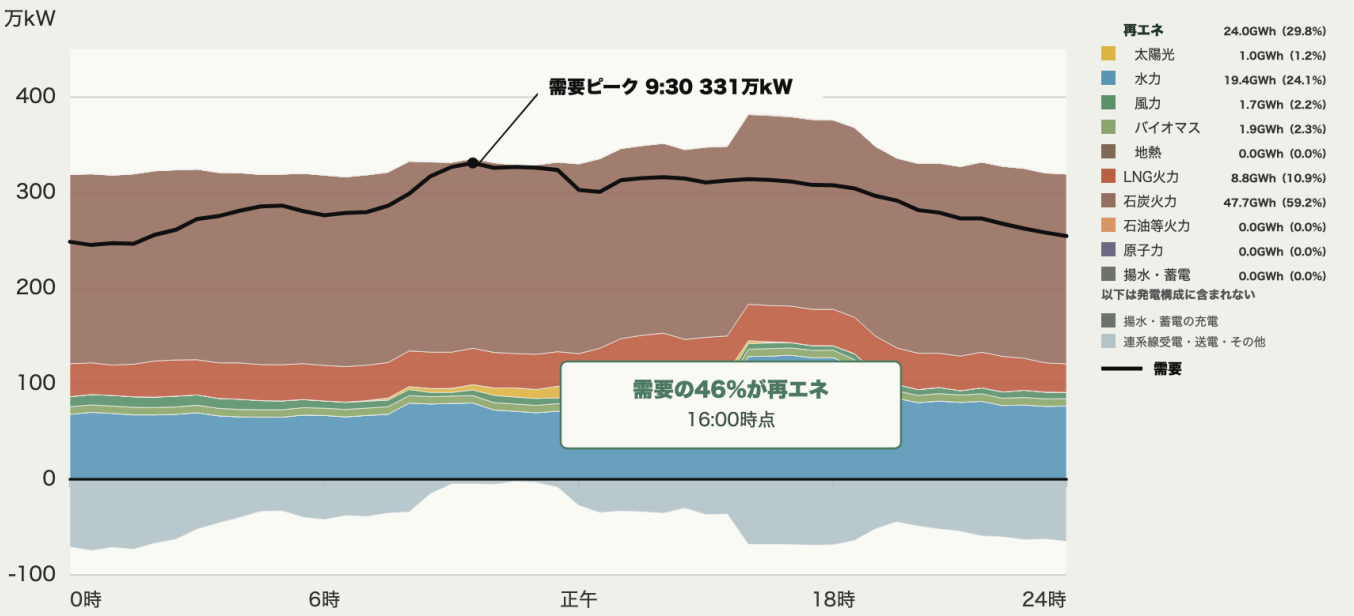
中部は、太陽光ピーク402万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.0%だった。

2026年10月30日の供給実績

北陸エリア

再エネ
24.0GWh
（発電電力量ベース29.8%）

北陸エリア 2026年10月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
80.5GWh

需要ピーク
9:30、331万kW

連系線・その他
10.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

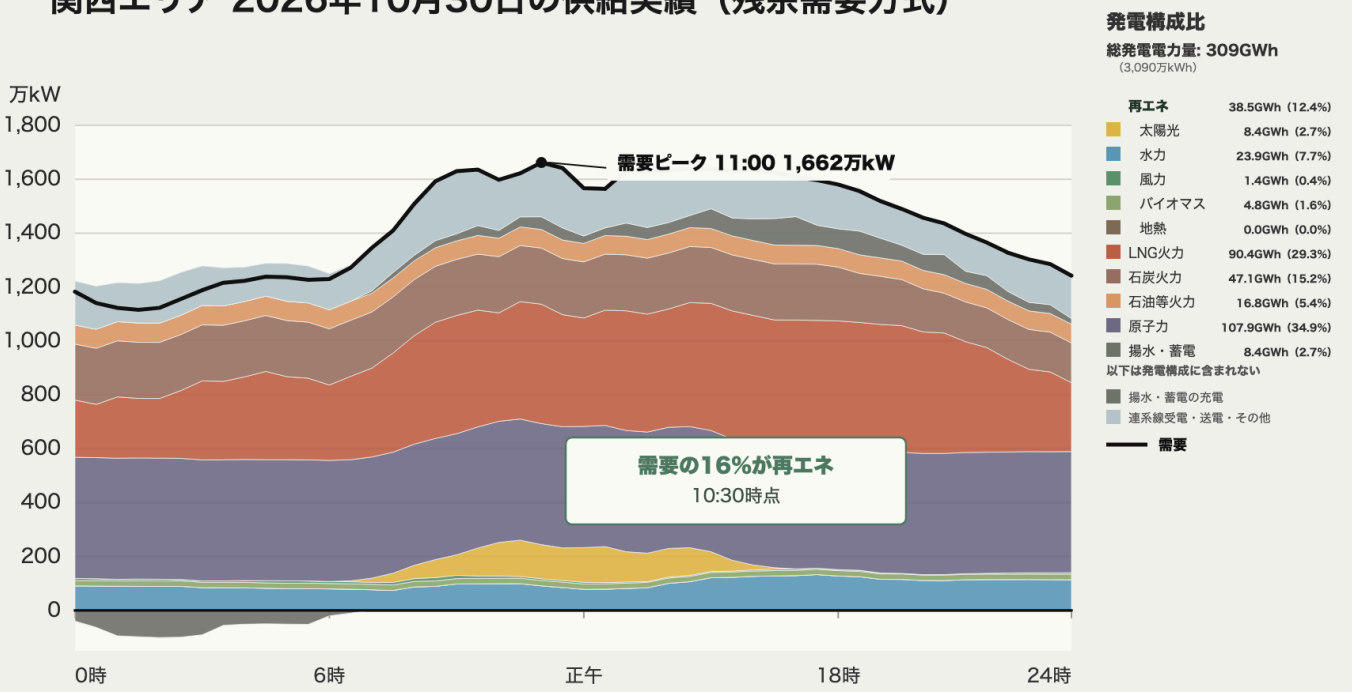
北陸は、太陽光ピーク25万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は46.2%だった。

2026年10月30日の供給実績

関西エリア

再エネ
38.5GWh
（発電電力量ベース12.4%）

関西エリア 2026年10月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
309.0GWh

需要ピーク
11:00、1,662万kW

連系線・その他
38.7GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

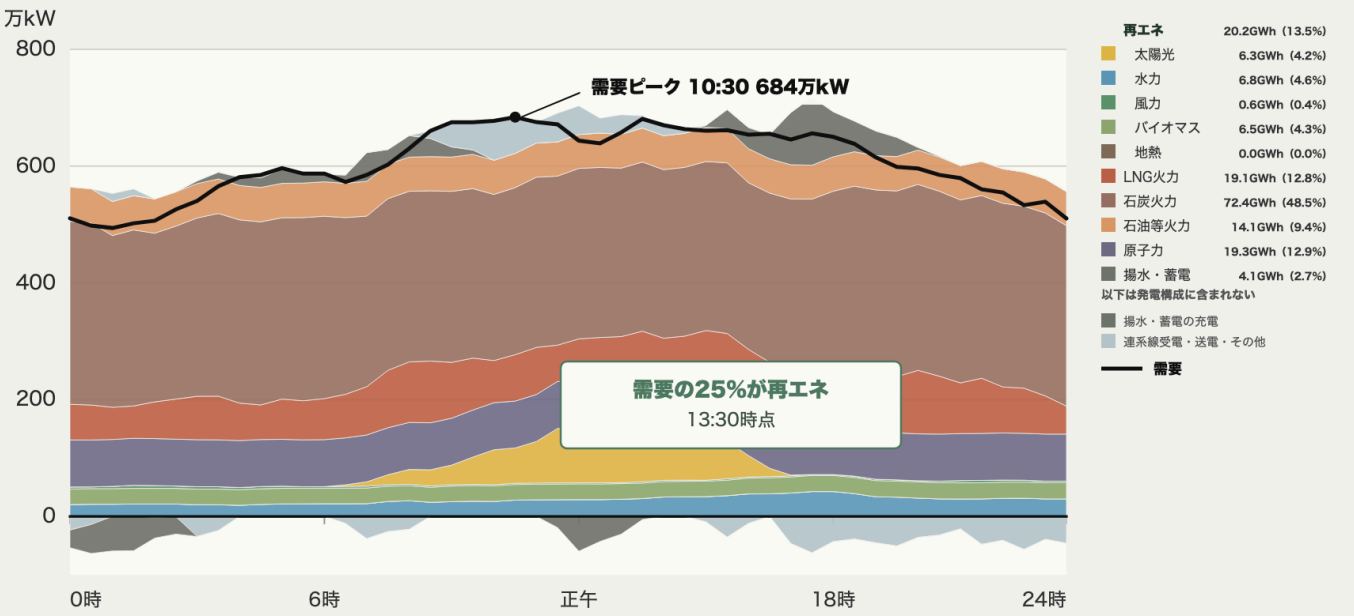
関西は、太陽光ピーク135万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は16.1%だった。

2026年10月30日の供給実績

中国エリア

再エネ
20.2GWh
（発電電力量ベース13.5%）

中国エリア 2026年10月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
149.1GWh

需要ピーク
10:30、684万kW

連系線・その他
4.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

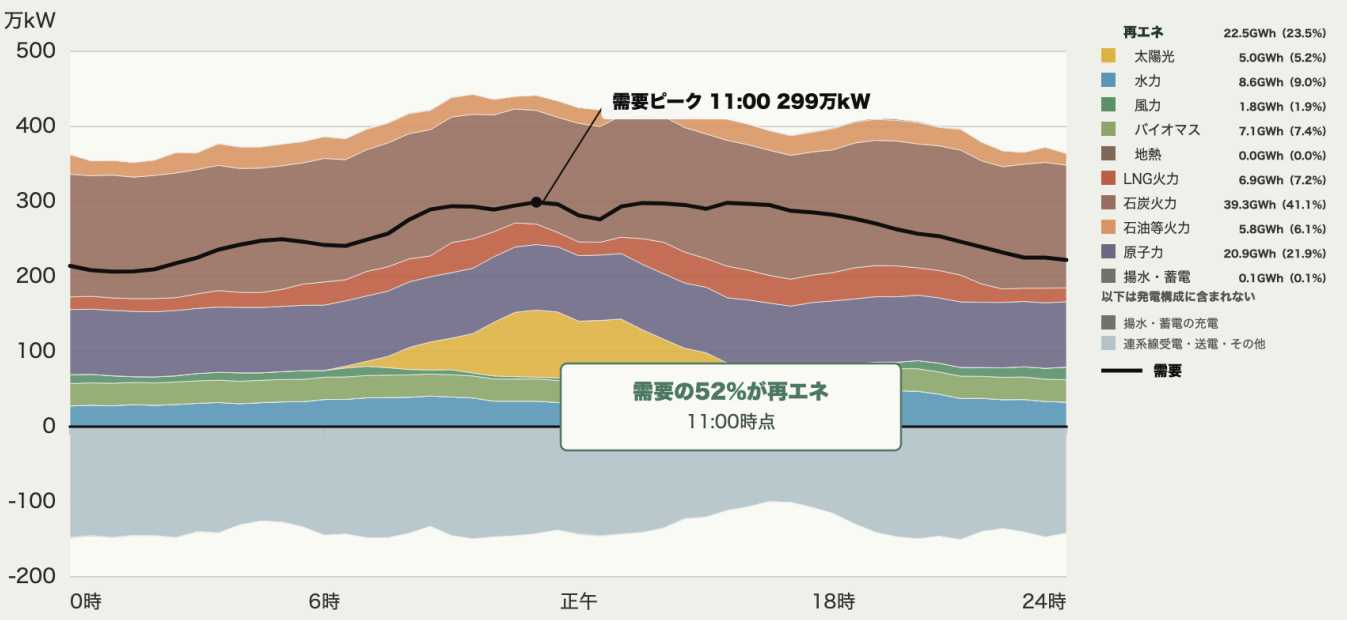
中国は、太陽光ピーク110万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.9%だった。

2026年10月30日の供給実績

四国エリア

再エネ
22.4GWh
（発電電力量ベース23.5%）

四国エリア 2026年10月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
95.5GWh

需要ピーク
11:00、299万kW

連系線・その他
32.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

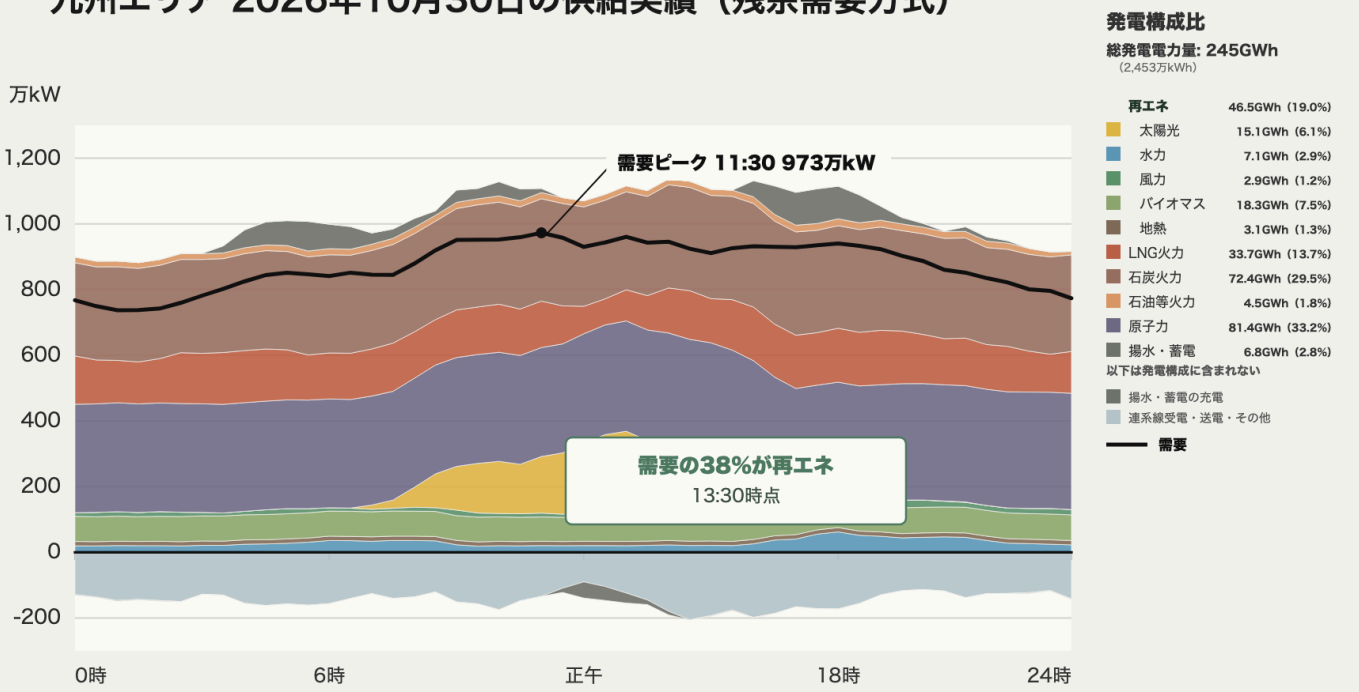
四国は、太陽光ピーク89万kW、風力ピーク17万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.0%だった。

2026年10月30日の供給実績

九州エリア

再エネ
46.5GWh
（発電電力量ベース19.0%）

九州エリア 2026年10月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
245.3GWh

需要ピーク
11:30、973万kW

連系線・その他
34.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

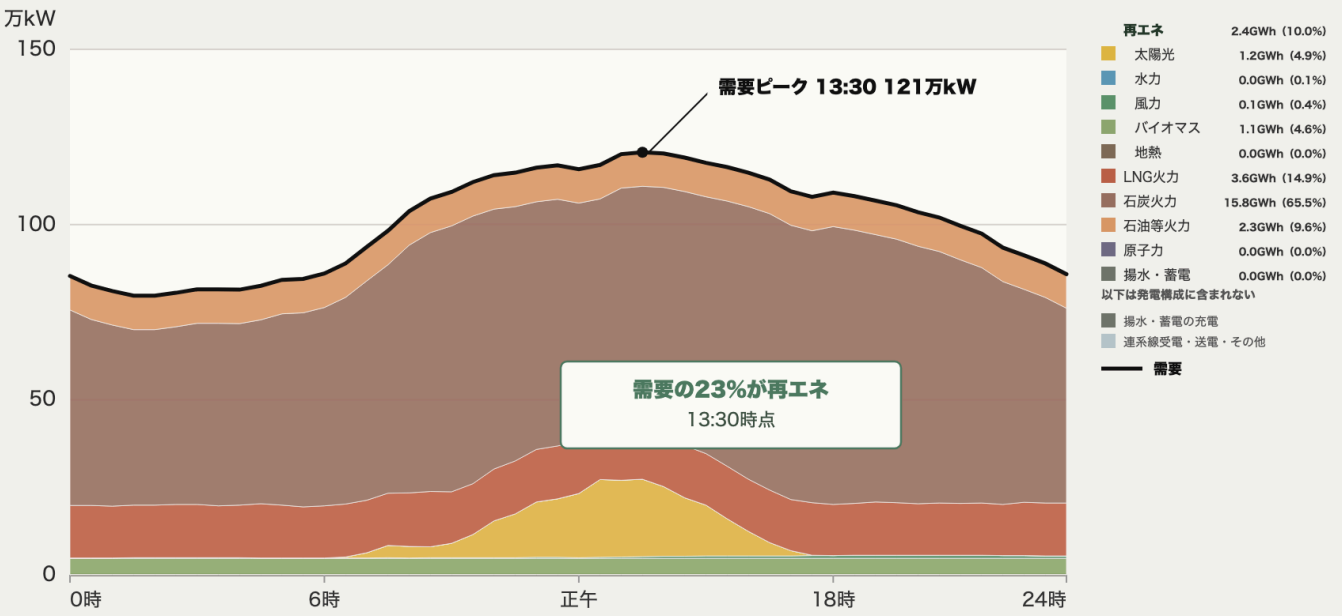
九州は、太陽光ピーク252万kW、風力ピーク24万kWで、時間別の再エネ最大需要比は38.4%だった。

2026年10月30日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.4GWh
（発電電力量ベース10.0%）

沖縄エリア 2026年10月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
24.1GWh

需要ピーク
13:30、121万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク22万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.2%だった。